

大雨・水害対策は万全ですか？

大雨は事前にある程度予測できます。いざという時に慌てず行動できるよう、日頃から備えておくべきことや災害時の情報の入手方法を紹介します。

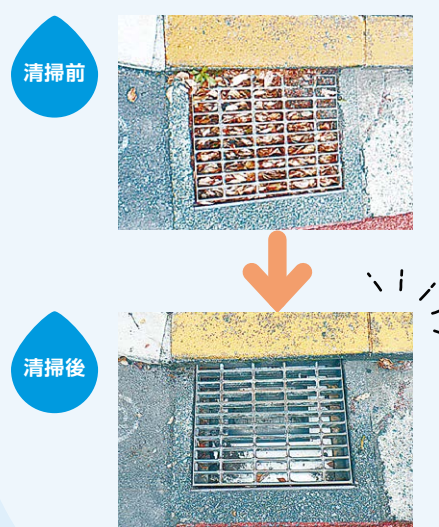
- ▶ 洪水ハザードマップ、防災気象情報…**危機管理課危機管理係**☎(5273)4592
- ▶ 避難情報・気象情報の入手…**危機管理課地域防災係**☎(5273)3874
- ▶ 土のう、雨水ます、警報サイレン…**道路課計画係**☎(5273)3525
- ▶ がけ・擁壁、地下室の浸水対策…**建築指導課指導係**☎(5273)3745

線状降水帯発生



雨水ますの清掃にご協力を

雨水ますのふたにごみや落ち葉が詰まると、雨水が流れにくくなる場合があります。区職員による巡回も行いますが、付近の清掃にご協力ください。



がけ・擁壁の点検を

台風や集中豪雨等による土砂災害を防ぐため、がけや擁壁を点検しましょう。土砂災害を防止するため、専門家の派遣や安全化対策工事費の助成をしています。詳しくは、お問い合わせください。



浸水想定区域・浸水深の確認を

洪水ハザードマップは、浸水が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。予想される浸水深(地面から水面までの高さ)も確認できます。新宿区洪水ハザードマップは、危機管理課(本庁舎4階)・道路課(本庁舎7階)・環境対策課(本庁舎7階)・建築指導課(本庁舎8階)・特別出張所で配布しているほか、新宿区ホームページ(右二次元コード)でご覧いただけます。

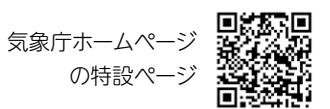


新宿区洪水ハザードマップ



新たな防災気象情報の運用が始まります

5月29日(金)から防災気象情報が右図のとおり新しくなります。※区では、同情報を参考に避難情報等を発信します。気象庁ホームページの特設ページで新たな防災気象情報の資料を開覧できます。
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>



気象庁ホームページの特設ページ

新たな防災気象情報

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

緊急時に利用できる土のうを配布しています 設置場所の確認を

下記配布場所へ連絡の上、受け取りにおいでください。※配布した土のうは受け取った方が処分してください。
配布場所・申込み ▶ 明治通りの東側にお住まいの方…東部工事事務所(市谷仲之町2-42)☎(5361)2454
▶ 明治通りの西側にお住まいの方…西部工事事務所(下落合1-9-8)☎(3364)2422
また、事前連絡不要で土のうをいつでも取り出せる土のうステーションを特別出張所等に設置しています。土のうステーションには、通常の土のう(麻色の袋)と軽量の土のう(黒色の袋)を格納しています。用途に合わせてご利用ください。
※管理会社等が建物を管理している場合は、配布できない場合があります。



土のうステーション設置場所はこちら

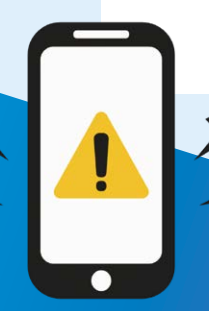
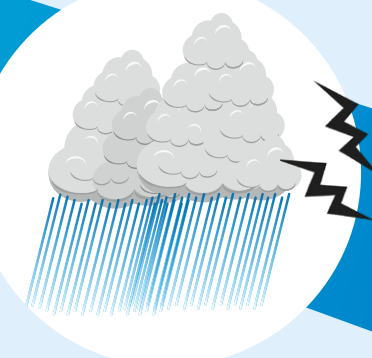


土のうステーション



通常の土のう(麻色の袋)

軽量の土のう(黒色の袋)



いざという時は即座に避難を



警報発表

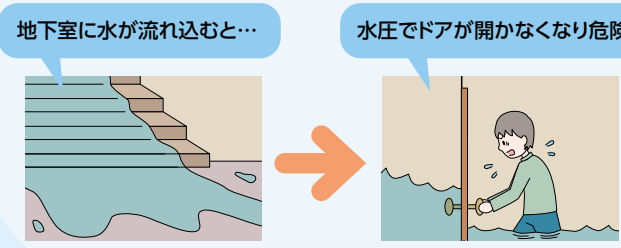
避難情報・気象情報の入手

避難情報等を新宿区ホームページ(右二次元コード)のトップページに掲載するほか、区立公園等に設置した防災スピーカーから放送します。放送内容は、専用電話番号☎(3205)1011でも聞くことができます。区防災気象情報メールでは、区内の地域に特化した気象情報等をメールで受け取れます(24時間以内に放送した内容のみ)。登録を希望する方は、下記電子メールアドレスに空メールを送信してください。(右二次元コードからも送信可)。
登録用電子メールアドレス ☎t-shinjuku@sg-p.jp



地下室の浸水対策を

建物が浸水した場合、地下室は水圧でドアが開きにくくなります。浸水する可能性がある場合は、地下室から安全な場所へ避難しましょう。

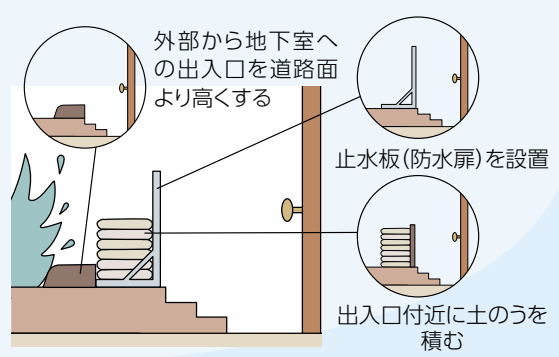


地下室に水が流れ込むと…

水圧でドアが開かなくなり危険!

地下室への浸水を防ぐため以下の対策をしましょう

浸水被害を軽減するには、止水板の設置や土のうの準備等の対策が有効です。



外部から地下室への出入口を道路面より高くする

止水板(防水扉)を設置

出入口付近に土のうを積む

河川の警報サイレンで洪水の危険をお知らせします

区内の河川近辺24か所に、警報サイレンを設置しています。河川の水位が警戒水位に達するとサイレンが鳴り、氾濫の可能性等をお知らせします。

